

しょう じしやじったいとちようさけっか がいよう 障がい児者実態等調査結果の概要

1 じったいとちようさ がいよう 実態等調査の概要

(1) もくてき 目的

「さっぽろしょう しょう しゃぶらん」のいちぶかいていにあたり、しょう じしや
じったい に - すとう はあく
実態、ニーズ等を把握する。

(2) ちようさきかん 調査期間

へいせい ねん がつ
平成25年11月

(3) ちようさたいしょうしゃ ちようさほうほう 調査対象者・調査方法

① しょう しゃ たい あんけー とちようさ 障がい者に対するアンケート調査

- しんたい ちてき てちようしよじしや たい ゆうそう おこな
身体・知的～手帳所持者に対して郵送で行う。
- せいしん いりようきかん しせつとう ちようさひょう りゆうち おこな
精神～医療機関や施設等に調査票を留置して行う。

② しょう じ ほごしゃ たい あんけー とちようさ 障がい児（保護者）に対するアンケート調査

- しんたい ちてき てちようしよじしや たい ゆうそう おこな
身体・知的～手帳所持者に対して郵送で行う。

③ なんびょうかんじや たい あんけー とちようさ 難病患者に対するアンケート調査

- なんびょうかんじやだんたい かいいん たい ゆうそう おこな
難病患者団体の会員に対して郵送で行う。

④ しせつにゆうしよしゃちようさ 施設入所者調査

ア にゆうしよしゃとう じょうきょうとうちようさ 入所者等の状況等調査

さっぽろしない しせつにゆうしよしゃ しせつしよくいん ほんにん き と
札幌市内の施設入所者について、施設職員が本人に聴き取り。

イ しょう とうじしや き と ちようさ 障がい当事者による聴き取り調査

ちいせいかつ ほんにん かんが しょう
地域生活について本人が考えていることなどを、障がい

とうじしや さぼーたー ちようさいん き と
当事者（まちづくりサポーター）が調査員となって聞き取る。

⑤ せいしんかびょういんにゆういんかんじやちようさ 精神科病院入院患者調査

さっぽろしない せいしんかびょういんにゆういんかんじや びょういんしよくいん ほんにん
札幌市内の精神科病院入院患者について、病院職員が本人

き と
に聴き取り。

- ⑥ 市民意識調査
20歳以上の市民に対して郵送で行う。

(4) 回収状況

- ① 障がい者に対するアンケート調査
発送6,000票 回収2,951票 回収率49.2%
- ② 障がい児（保護者）に対するアンケート調査
発送1,000票 回収490票 回収率49.0%
- ③ 難病患者に対するアンケート調査
発送500票 回収264票 回収率52.8%
- ④ 施設入所者調査
- ア 入所者等の状況等調査
発送29票 回収28票
- イ 当事者による聴き取り調査
障がい者支援施設2か所（入所者21名）に聴き取り。
- ⑤ 精神科病院入院患者調査
発送39票 回収28票
- ⑥ 市民意識調査
発送3,000票 回収1,316票 回収率43.9%

2 調査結果の概要

(障がい者保健福祉計画の分野ごとに、関連する主な項目を記載)

分野1 理解促進

○ 障がい者に対するアンケート調査

- 障がいのある人に対する市民理解
深まっていると思う (8.8%)
まあまあ深まっていると思う (20.5%)
- 障がい者への理解を深めるために必要なこと
福祉教育の充実 (45.9%)
ボランティアの育成 (35.9%)

○ 障がい児(保護者)に対するアンケート調査

- 障がいのある人に対する市民理解
深まっていると思う (2.7%)
まあまあ深まっていると思う (16.3%)
- 障がい者への理解を深めるために必要なこと
障がいのある人とない人が一緒に教育できる場 (70.6%)
福祉教育の充実 (64.5%)

○ 難病患者に対するアンケート調査

- 障がいのある人に対する市民理解
深まっていると思う (5.3%)
まあまあ深まっていると思う (21.3%)
- 障がい者への理解を深めるために必要なこと
福祉教育の充実 (70.8%)
ボランティアの育成 (53.0%)

○ しみんいしきちょうさ
市民意識調査

- ・ 障がいのある人と気軽に話したり、手助けしたりしたこと
ある（72.6%）
- ・ 障がい者差別解消法の認知度
知らなかった（約71.0%）

分野2 生活支援、分野3 保健・医療

○ しょうがいしゃたいあんけーとちょうさ
障がい者に対するアンケート調査

- ・ 現在受けている障害福祉サービスの内容についての満足度
満足している（37.1%）
おおむね満足している（38.8%）
- ・ 障害福祉サービスで支払っている利用者負担の負担感
特に負担とは感じない（32.9%）
これくらいの負担はやむをえないと思う（30.3%）
- ・ 福祉サービスを利用しやすくするために必要なこと
利用手続きの簡素化・迅速化（53.4%）
緊急時への対応（41.3%）
- ・ 外出するときに困っていること
特にない（32.1%）
交通費がかかる（20.9%）
- ・ 希望する生活をするためにあればいいこと
高齢になっても安心して生活できること（45.7%）
困ったときに相談できて教えてくれる場所（36.9%）

○ しょうがいじほごしゃたいあんけーとちょうさ
障がい児（保護者）に対するアンケート調査

- ・ 現在受けている障害福祉サービスの内容についての満足度
満足している（29.5%）
おおむね満足している（48.6%）

- しょうがいふくしき - びす しはら りようしゃふたん ふたんかん
 ・ 障害福祉サービスで支払っている利用者負担の負担感
 とく ふたん かん
 特に負担とは感じない (13.7%)
 これくらいの負担はやむをえないと思う (41.0%)
- ふくしき - びす りよう ひつよう
 ・ 福祉サービスを利用しやすくするために必要なこと
 りようてつづ かんそか じんそくか
 利用手続きの簡素化・迅速化 (64.1%)
 きんきゅうじ たいおう
 緊急時への対応 (52.2%)
- がいしゅつ こま
 ・ 外出するときに困っていること
 あんしん りよう しせつ と いれ すく
 安心して利用できる施設・トイレが少ない (28.0%)
 とく
 特にない (27.0%)
- きぼう せいかつ
 ・ 希望する生活をするためにあればいいこと
 こうれい あんしん せいかつ
 高齢になっても安心して生活できること (38.0%)
 こま そうだん おし ばしょ
 困ったときに相談できて教えてくれる場所 (34.9%)

○ 難病患者に対するアンケート調査

- げんざいりょう しょうがいふくしき - びす ないよう まんぞくと
 ・ 現在受けている障害福祉サービスの内容についての満足度
 まんぞく
 満足している (15.5%)
 おおむね満足している (39.7%)
- しょうがいふくしき - びす しはら りようしゃふたん ふたんかん
 ・ 障害福祉サービスで支払っている利用者負担の負担感
 とく ふたん かん
 特に負担とは感じない (17.2%)
 これくらいの負担はやむをえないと思う (41.4%)
- ふくしき - びす りよう ひつよう
 ・ 福祉サービスを利用しやすくするために必要なこと
 りようてつづ かんそか じんそくか
 利用手続きの簡素化・迅速化 (71.6%)
 さ - びす りよう さい まどぐち
 サービスを利用する際の窓口がわかりやすい (59.5%)
- がいしゅつ こま
 ・ 外出するときに困っていること
 ほどろ ある いどう
 歩道が歩きにくい (移動しにくい) (32.8%)
 こうつうひ
 交通費がかかる (30.1%)
- きぼう せいかつ
 ・ 希望する生活をするためにあればいいこと
 こうれい あんしん せいかつ
 高齢になっても安心して生活できること (52.7%)
 こま そうだん おし ばしょ
 困ったときに相談できて教えてくれる場所 (39.8%)

○ 施設入所者調査（身体障がい）

- 地域生活への移行について本人の意向
 - ちいきせいかつ いこう ほんにん いこう
地域生活への移行について本人の意向
 - ちいきせいかつ おも
地域生活をしたいと思っている（1.8%）
 - ちいきせいかつ かんしん きょうみ しめ
地域生活に関心がある・興味を示している（3.9%）
- 退所に向けての問題点
 - たいしょ む もんだいてん
退所に向けての問題点
 - いちどたいしょ さいにゆうしょ ふあん
一度退所すると再入所できるか不安（42.8%）
 - やかん きんきゅうじ しえん ふあん
夜間や緊急時の支援に不安（34.3%）
 - ふくやくかんり ふく いりょうけ あ ふあん
服薬管理を含めた医療ケアに不安（33.6%）

○ 施設入所者調査（知的障がい）

- 地域生活への移行について本人の意向
 - ちいきせいかつ いこう ほんにん いこう
地域生活への移行について本人の意向
 - ちいきせいかつ おも
地域生活をしたいと思っている（3.4%）
 - ちいきせいかつ かんしん きょうみ しめ
地域生活に関心がある・興味を示している（8.0%）
- 退所に向けての問題点
 - たいしょ む もんだいてん
退所に向けての問題点
 - やかん きんきゅうじ しえん ふあん
夜間や緊急時の支援に不安（42.3%）
 - す かくほ こんなん
住まいの確保が困難（34.2%）
 - ふくやくかんり ふく いりょうけ あ ふあん
服薬管理を含めた医療ケアに不安（33.6%）

○ 精神科病院入院患者調査

- 入院患者の症状
 - にゆういんかんじゃ しょうじょう
入院患者の症状
 - かんかい
寛解（7.3%）
 - しょうじょうざんぞん しえん たいいんかのう
症状残存だが支援により退院可能（7.3%）
- 退院に向けての支援プログラム
 - たいいん む しえん ぶろ ぐら む
退院に向けての支援プログラム
 - ふくやく ひつようせい うなが
服薬の必要性を促す（36.8%）
 - ちいき しゃかいしげんじょうほう つた
地域の社会資源情報を伝える（26.8%）
 - しゃかいせいかつぎじゅつ しゅとく うなが
社会生活技術の取得を促す（23.6%）
- 退院に向けての必要資源（生活支援）
 - たいいん む ひつようしげん せいかつしえん
退院に向けての必要資源（生活支援）
 - ほうもんかんごさ - びす
訪問看護サービス（38.5%）

ぶんや
分野4 生活環境

○ しょう しょう たい あんけーとちようさ
障がい者に対するアンケート調査

- ぼうさい かん ふあん かん
防災に関して不安に感じること
ひなんばしょ せいかつ ふあん
避難場所ですまく生活できるか不安 (53.7%)
さいがいじ てだす ひと
災害時に手助けしてくれる人がいない (20.7%)

○ しょう じ ほごしゃ たい あんけーとちようさ
障がい児(保護者)に対するアンケート調査

- ぼうさい かん ふあん かん
防災に関して不安に感じること
ひなんばしょ せいかつ ふあん
避難場所ですまく生活できるか不安 (71.4%)
さいがいじ てだす ひと
災害時に手助けしてくれる人がいない (32.4%)

○ なんびょうかんじゃ たい あんけーとちようさ
難病患者に対するアンケート調査

- ぼうさい かん ふあん かん
防災に関して不安に感じること
ひなんばしょ せいかつ ふあん
避難場所ですまく生活できるか不安 (65.2%)
さいがいじ てだす ひと
災害時に手助けしてくれる人がいない (29.2%)

○ しみんいしきちようさ
市民意識調査

- ねんまえ くら ぶつりてきばり あ かいぜん おも
3年前と比べて物理的バリアは改善されていると思うか
かいぜん
かなり改善されている (7.5%)
かいぜん
少しずつ改善されている (58.7%)
かいぜん
あまり改善されていない (11.9%)
- さっぽろし しょう ひと ちいき く とし おも
札幌市が障がいのある人にとって地域で暮らしやすい都市であると思うか
おも
まあそう思う (26.0%)
おも
あまりそう思わない (24.8%)
- く おも りゆう
暮らしやすいと思わない理由
しょう ひと はいりょ じゅうたく たてもん こうつうきかん せいび ふじゅうぶん
障がいのある人に配慮した住宅、建物、交通機関などの整備が不十分 (66.9%)
しょう ひと そうだん う たいせい ととの
障がいのある人からの相談を受ける体制が整っていない (58.7%)
しょう ひと しゅうろう こんなん
障がいのある人の就労が困難 (52.2%)

ぶんや きょういく いくせい
分野5 教育・育成

○ しょうがい児（保護者）に対するアンケート調査

- こ とうめん ちよつきん しんろ
子どもの当面（直近）の進路
 - とくべつしえんがっこう しょう ちゅう こう
特別支援学校（小・中・高）（28.2%）
 - しょう ちゅうがっこう とくべつしえんがっきゅう
小・中学校（特別支援学級）（20.4%）
 - とくべつしえんがっこう つうじょう がっきゅう
特別支援学校（通常の学級）（13.9%）
- こんご きょういく りょういく ちから い
今後の教育や療育について力を入れるべきこと
 - ぎ む きょういくしゅうりようご しんろ しゅうしょくさき かくほ
義務教育終了後の進路（就職先）の確保（49.0%）
 - しょう おう きょういくないよう じゅうじつ
障がいに応じた教育内容の充実（45.9%）
 - つうじょう がっきゅう ほいくじょ ようちえん うけいれ じゅうじつ
通常の学級、保育所、幼稚園への受入の充実（33.1%）

ぶんや こよう しゅうろう
分野6 雇用・就労

○ しょうがい者に対するアンケート調査

- しごと つづ ひつよう
仕事を続けるうえで必要なこと
 - じぶん あ しごと はたら ば み
自分に合った仕事や働く場を見つけてくれるところがある（39.8%）
 - しよくば しごと しえん
職場で仕事がしやすいように支援してくれる（28.5%）
 - きんむじかん ちようせい
勤務時間が調整できる（25.2%）

○ なんびょうかんじや たい あんけーとちようさ
難病患者に対するアンケート調査

- しごと つづ ひつよう
仕事を続けるうえで必要なこと
 - きんむじかん ちようせい
勤務時間が調整できる（40.9%）
 - じぶん あ しごと はたら ば み
自分に合った仕事や働く場を見つけてくれるところがある（36.4%）
 - ぎようせい しょう かん りかい そくしん
行政が障がいに関する理解を促進する（24.2%）

3 「障がい当事者による聴き取り調査」における主な意見

＜調査方法＞

障がい者支援施設2か所の入所者から、計21人に聴き取り。
「障がい者によるまちづくりサポーター」との意見交換会形式により、地域生活についての意向などを聴き取る。

＜主な意見＞

- ① 地域生活をしてみたい、興味・関心があるとの意見
 - ・施設で力をつけたら、地元に戻りたい。親や兄弟も地元にいる。地域の活動に参加したい。
 - ・実家には年に1回程度帰っている。自分は常時介護が必要なため、地域生活ができる環境を整えたい。
 - ・ここは地域みたいなもの。自分は24時間介護が必要なため、地域生活に興味はあるが、施設の方が安心で、どちらがよいかは半々の気持ち。
- ② 地域で生活をしたいくないとの意見
 - ・一人で暮らすのは好きではない。バランスのよい食事もとれない。人に迷惑をかけるだけ。親が反対すると思う。施設は安心。
 - ・自分では何もできないから、1人では暮らせないと思う。手助けをする人がいても、1人で暮らせるかはわからない。
 - ・困ったときにすぐに来てくれたり、お医者さんが見てくれたりと、施設には安心感があるので、このままずっと入所したいと思う。入所者もたくさんいると思う。
- ③ 地域生活をした場合に不安に感じる事
 - ・施設は楽。地域に出るのは不安で、自立は夢みたい。地域生活に興味がないわけではないが、家に帰っても手が動かないので何もできない。家族が反対すると思うし、もし一人になったときにまた施設

はい もんだい
に入れるかという問題もある。

- ちほう き さっぽろし ちいきせいかつ はじ ちいき ひと
• 地方から来たので、札幌市で地域生活を始めるとしても、地域の人
とどう付き合ったらよいか不安。また、住宅改修も必要で、
けいざいてき ふあん
経済的にも不安。

- ちいきせいかつ へる ぱー かえ あと なに
• 地域生活をしたとしても、ヘルパーが帰った後に何かあったらど
うするのか。

④ ちいき せいかつ ばあい す ばしょ
地域で生活する場合、住んでみたい場所

- けあほーむ
• ケアホーム

- おや いっしょ まんしょん す
• 親と一緒にマンションで住みたい。

⑤ にちちゅう かつどう
日中どのような活動がしたいか？

- りょうりきょうしつ ばそこんきょうしつ
• 料理教室、パソコン教室にいきたい。

- にちちゅう かつどう りはびり じかん ざいたく
• 日中の活動については、リハビリの時間をとりたいので、在宅
わーく
ワークがしたい。

- じこ いぜん い うえぶさくせい しごと
• 事故の以前に行っていたWEB作成の仕事をしたい。